

# CASBEE<sup>®</sup> とっとり

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新編(簡易版) 2008年版 I 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	(仮称)ホームプラザナフコ倉吉店新	階数	地上1F
建設地	鳥取県倉吉市河北町128-1外7筆	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	13時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年11月 予定	評価の実施日	2011年7月2日
敷地面積	13,541 m <sup>2</sup>	作成者	鶴岡 正嗣
建築面積	5,456 m <sup>2</sup>	確認日	2011年7月2日
延床面積	5,439 m <sup>2</sup>	確認者	鶴岡 正嗣

外観ベース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

<b>2-1 建築物の環境効率(BEEランク&amp;チャート)</b>	<b>2-2 大項目の評価(レーダーチャート)</b>	<b>2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)</b>
<p>BEE = 1.4</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>		<p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

<b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.0	<b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.1	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.7
音環境: 2.4, 温熱環境: 2.6, 光・視環境: 3.5, 空気環境: 3.4	機能性: 3.0, 耐用性・信頼性: 2.8, 対応性・更新性: 3.6	生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 3.0, 地域性・アメニティ: 3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.6

<b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.6	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.5	<b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.8
建物の熱負荷: 3.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 5.0, 効率的運用: 3.0	水資源保護: 3.0, 非再生材料の使用削減: 3.4, 汚染物質回避: 4.3	地球温暖化への配慮: 5.0, 地域環境への配慮: 3.2, 周辺環境への配慮: 3.2

<b>3 設計上の配慮事項</b>		<b>その他</b>
<p><b>総合</b> 周辺にあまり高層の建物がない為、景観等周辺地域への配慮として平屋建てにて計画しました。又、周辺道路への違法駐車をなくす為、敷地内の駐車場を可能な限り多く確保しています。</p>		<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
空調は個別に温度設定及びON・OFFができるような空調システムを採用しています。	店内の天井高を高くし、圧迫感のない快適な空間を形成しています。	景観条例に基づく緑地を必要面積以上確保しています。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
店内の照明については必要以上の照度とならないよう配慮しています。空調についても可能な限り台数を減らし、消費エネルギーの軽減に努めています。	トイレ内の手洗いは節水性の良い器具を採用しています。屋外舗装下の路盤は再生材を利用します。	敷地内の駐車台数を多めに確保し、周辺道路の交通渋滞緩和に配慮しています。

4 重点項目		
重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	点 / 10点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	5点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	点 / 25点	
敷地内緑化の推進	10点 / 25点	
合計	15点 / 85点	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照ください